調達要求番号：

陸　上　自　衛　隊　仕　様　書			
物品番号		仕　様　書　番　号	
航空写真判読セット		ＨＥ－Ａ１６６００４Ｌ	
		防衛大臣承認	年　月　日
		作　成	平成１０年　９月１８日
		変　更	平成２７年　５月１５日
		作成部隊等名	補　給　統　制　本　部

1　総則

1.1　適用範囲

この仕様書は，陸上自衛隊において使用する航空写真判読セットについて規定する。

1.2　用語及び定義

この仕様書で用いる用語及び定義は，ＧＬＴ－ＣＧ－Ｚ０００００１による。

1.3　引用文書

この仕様書に引用する次の文書は，この仕様書に規定する範囲内において，この仕様書の一部を成すものであり，入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

ａ）　仕様書

ＤＳＰ　Ｋ　５２０３　　外部用フタル酸樹脂エナメル（半つや）

ＧＬＴ－ＣＧ－Ｚ０００００１　陸上自衛隊装備品等一般共通仕様書

2　製品に関する要求

2.1　構成

構成は，調達要領指定書によって指定する場合を除き，**表 3** による。

2.2　材料

材料は，日本工業規格品又は同等以上のものとし，かつ製造者が規定する社内規格に合格したものとする。

2.3　構造・形状・寸法

構造，形状及び寸法は，**表 3** を基準とする。

なお，収容箱は，**図 1** を標準とし，製作要領は，**附属書Ａ**によものとし，細部は，承認図面による。

2.4　外観

外観は，次による。

a)　外観上のきず，割れ，まくれその他の欠陥がないものとする。

b)　各部の塗装及びめっきにむらがあってはならない。

2.5　製品の表示

製品の表示は，調達要領指定書によって指定する場合を除き，ＧＬＴ－ＣＧ－Ｚ０００００１の 2.3 によるほか，収容箱上面に物品管理区分標識（ＧＬＴ－ＣＧ－Ｚ０００００１の**図 2c**）及び品名を黒色塗料で表示するものとし，細部は，承認図面による。

3　品質保証

監督及び検査は，契約担当官等が定める監督・検査実施要領による。

4　出荷条件

4.1　包装

包装は，調達要領指定書によって指定する場合を除き，商慣習による。

4.2　包装の表示

包装の表示は，調達要領指定書によって指定する場合を除き，ＧＬＴ－ＣＧ－Ｚ０００００１の4.2による。

なお，操作，安全に関する表示，標識などは，日本語又は英語によって表示するものとする。

5　その他の指示

5.1　承認用図面

契約の相手方は，ＧＬＴ－ＣＧ－Ｚ０００００１の箇条6に基づき2.3，2.5及びその他必要な事項について承認用図面各３部（カタログなどでも可）を契約担当官等に提出し，承認を受けるものとする。

5.2　納入書類

5.2.1　添付書類

契約の相手方は，調達要領指定書によって指定する場合を除き，**表 1** の書類を添付するものとする。

なお，官側が示した場合は，**表**１の書類を１部提出するものとする。

表 1－添付書類

番号	添付書類	数量	注記
1	取扱説明書	1	ＧＬＴ－ＣＧ－Ｚ０００００１の箇条7による。 日本語版とする。
2	構成品目表	1	5.2による。また，一葉ごとにプラスチックフィルムに入れるか，又はラミネート加工する。

5.2.2　提出書類

契約の相手方は，調達要領指定書によって指定する場合を除き，製品納入時，陸上自衛隊関東補給処古河支処に**表 2** の書類を提出するものとする。ただし，過去に納入実績があり，前回納入時と変更のない場合は，省略できるものとする。

表 2－提出書類

番号	提出書類	数量	注記
1	取扱説明書	a)	ＧＬＴ－ＣＧ－Ｚ０００００１の箇条7による。 日本語版とする。
2	構成品目表	a)	5.2による。
3	構成品写真	a)	適度に区分し，各構成品が確認できるものとする。
注 a)	数量は，調達要領指定書によって指定する。		

5.3　構成品目表

構成品目表は，次による。

a)　構成品目表は，Ａ４とし，構成品名，規格及び数量を記載するものとする。

b)　表紙には，物品管理区分標識（ＧＬＴ－ＣＧ－Ｚ０００００１の**図**２ｃ），品名，納入年月及び納入業者名を表示するものとする。

5.4　仕様書に関する疑義

仕様書に関する疑義は，ＧＬＴ－ＣＧ－Ｚ０００００１の8.3による。

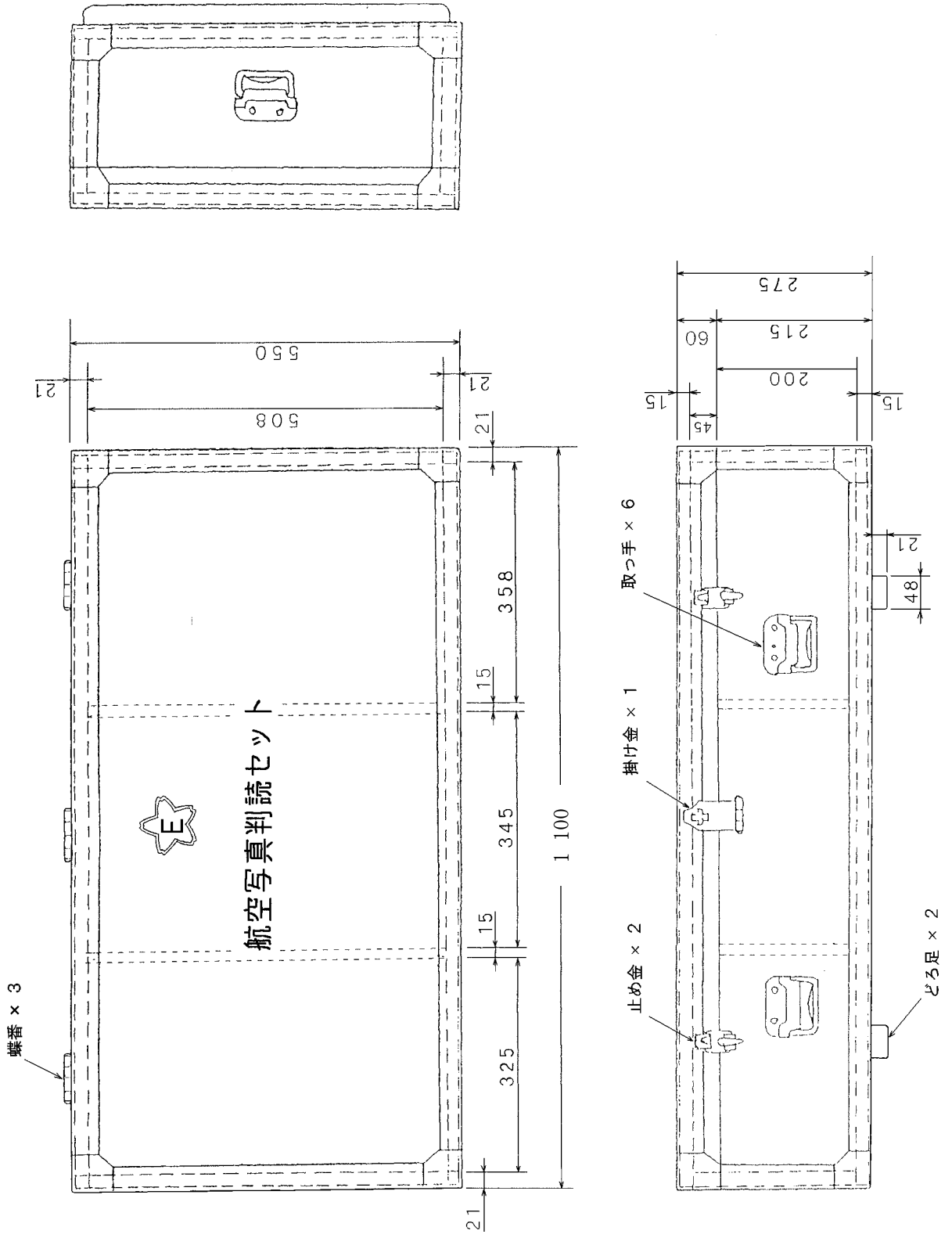
表 3－構成

番号	品名	数量	規格等
1	拡大鏡（柄付）	2	性能等　レンズ径　100 mm，倍率　2 倍
2	拡大鏡（目盛付）	2	性能等　レンズ径　20 mm，倍率　10 倍以上 目盛り長　10 mm，最小目盛　0.1 mm
3	拡大実体鏡（反射鏡形）	1	性能等　観察基線長　250 mm以上 接眼間隔　64 mm±1 mm 拡大レンズの倍率　1.8 倍以上
4	拡大実体鏡（ポケット形）	2	性能等　拡大レンズの倍率　2 倍以上 レンズ有効径　24 mm レンズ間隔調整　55 mm～75 mm
5	プラニメータ	1	性能等　測桿　固定式ローラ型 測定範囲　300 mm×300 mm以上 精度　±0.2 %以内 デジタル表示式 8 桁以上
6	スケール，航空写真判読用	2	縮尺　1/1，目盛り全長　300 mm，単位目盛り　1 mm，最小目盛り　0.2 mm， 最小目盛りを施す長さは，50 mmまでとする。 目盛り精度は，目盛り全長±0.3 mm以内とする。 収納ケース付
7	製図器械	1 組	スライドコンパス デバイダ スプリングコンパス差し替え　鉛筆，からすロ アタッチメント　0.3 mm，0.5 mm シャープペンシル　0.5 mm 製図ペン　0.3 mm，0.5 mm 万能アダプタ 替え芯　0.3 mm，0.5 mm，2.0 mm 製図用インク　　黒 ドライバ 中心器 字消板 ふき皮 収納ケース
8	製図板	1	呼び寸法　900 mm×1 200 mm （製図台は，別途調達）
9	三角スケール	2	長さ　300 mm，副尺付 材質竹，アルミニウム及び合成樹脂製 縮率組合せ　1/100，1/200，1/300，1/400，1/500，1/600

表 3－構成（続き）

番号	品名	数量	規格等
１０	半円分度器（１８０）	1	呼び寸法　直径　180 ㎜ 角度目盛り　0～180° 最小目盛り　30′
１１	雲形定規	1 組	180 ㎜の 6 枚組
１２	平ざら	1	ステンレス又はホーロー製 呼び寸法　290 ㎜×405 ㎜×65 ㎜
１３	ローラ（写真焼付用）	1	機能　手動式，一輪又は二輪ゴムローラ 呼び寸法　幅 120 ㎜～200 ㎜， ローラ径 25 ㎜～40 ㎜（一輪又は二輪ゴムローラ）
１４	収容箱	1	**図 1** による。

単位　mm



注記　この図は，標準を示すものである。

図 1－収容箱

附属書Ａ
（規定）
木製収容箱の製作要領

A.1　適用範囲

この**附属書**は，本体の **2.3** に基づく収容箱の作成要領について規定する。

A.2　共通事項

共通事項は，次による。

a)　収容箱は，収容品の質量，寸法などを勘案して強固に作成するものとする。

b)　収容箱の各りょう部は，アングル材などの金具で補強するものとする。

c)　収容箱の底面には，どろ足を取り付けるものとする。

A.3　材料

材料は，次による。

a)　木材は，ラワン材などの節のない良質なものとし，製作後に狂いが出ないようによく乾燥されたものを使用するものとする。また，合板を使用するときは，耐水性を有するものを使用するものとする。

b)　収容箱の補強に使用するアングル材，取っ手，留め具，丁番，木ねじ，リベット，ボルト，ナット，座金等の金具類は，日本工業規格適合品又は同等以上のものを使用するものとする。

c)　板厚は，側板 21 mm，天板・底板 15 mm，仕切板 15 mm を標準とする。

A.4　加工方法

A.4.1　木部

木部は，次による。

a)　木材は，全て両面をかんな又はやすり仕上げを行い，収容箱の各りょう部及び角部は，補強金具を取り付ける前に面取りを行うものとする。

b)　各部材の組立ては，木工用接着剤を使用し，その上から木ねじ等で固定するものとする。

c)　板材をはぎ合わせて使用する場合は，隙間，段違いなどができないようにさねはぎ，ありはぎなどの加工を行った後，接着剤を用いて強固にはぎ合わせるものとする。

d)　内部の仕切板，防振材などは，特に指示がある場合のほかは，内容品の形状，質量などを勘案して適宜に設けるものとする。

A.4.2　金具類

金具類は，次による。

a)　木ねじなどの呼び及び長さは，十分な強度を保持するよう板厚に適合するものを選定するものとする。

　なお，木ねじの間隔は，仕切板，補強金具などの取付位置に合わせて適宜に調節するものとする。

b)　本体と蓋の接合面には，ゴムなどのパッキング材を使用して，防水性，防音性などに考慮するものとする。また，２か所に留め金を付けるものとする。

c) 本体と蓋には，丁番部の破損を防ぐために開き止めを設けるものとする。

d) 取っ手金具は，収容箱の総質量を勘案して，隊員１人で支える質量が 25 kg以下となるように個数を考慮するものとする。

A.5 塗装

塗装は，次による。

a) 木部の塗装は，下地処理を行った後，むらがないように仕上げるものとする。

b) 金属部分は，事前に防せい処理を施した後，次の塗装を行うものとする。

c) 収容箱外面は，ＤＳＰ Ｋ ５２０３の色番号 2314（ＯＤ色 7.5Y 3/1）で塗装するものとする。

d) 収容箱内面は，ニス仕上げとする。